



松木源太郎 議員



小学校の通学路の安全対策について

問 千鴻小学校は、明治川に沿った市道にゾーン30の標示があり、一部区間のみ歩道部分が設置されている。この道路の整備を早急に検討してもらいたい。

答 当面の安全対策として、グリーンベルトやラバーポールを設置し、歩行者の通行空間を明確にしたい。ゾーン30の緑色の路面標示の再塗装も進めていく。

会計年度任用職員の保育士逮捕について

問 7月の保育士逮捕事件について伺う。7月28日に不起訴処分となり、9月25日までに、弁明機会付与通知書の提出を求めたが、この職員を分限及び懲罰委員会にかけられるのか。

答 不起訴になったので処分にならないのでは、とのことだが、不起訴と無罪とは意味合いが異なり、不起訴になったからといって無罪というわけではない。不起訴と懲戒処分も違うもので

あって、懲戒処分というのは職員の義務違反、信用失墜行為や全体の奉仕者としてふさわしくない行為などに対して、任命権者が公務員に対する秩序を維持する目的をもって職員に科するものである。

仁玉川改修事業について

問 令和5年12月議会的一般質問で取り上げてから2年3か月が過ぎた仁玉川の現在の状況について伺う。

答 仁玉川の2期工事の状況については、令和6年度に事業申請人となる大利根土地改良区による事業計画概要書が作成され、現在事業の実施主体となる県が事業計画を作成している。

水道料金の収支計画について

問 7月に開催された水道事業運営協議会において、令和12年度を目安に料金の30%値上げが必要となるとの説明があったようだが、具体的な内容を伺う。

答 試算の結果、今後の見直し年度に赤字が生じ、資本的収支が令和13年度以降の補填財源を確保できない状況となり、この収支均衡を図るためには30%増の料金改定が必要であると説明をした。

兼業農家の育成

問 兼業農家や新たな就農者に対する支援として、千葉県一の農業生産額を誇る旭市なので、予算をつけてもいいと思うが、考えを伺う。

答 国・県、JAなどの関係機関と連携しながら、兼業農家の育成に取り組むなど、多様な形で農業に関わる人材を確保し、地域農業の持続的な発展につなげていきたいと考えている。

銀座通りの活性化

問 銀座通り商店街の賑わい創出について、空き店舗の活用や新たな取り組みについて伺う。

答 銀座通りの活性化については、もともとある店舗、力というか魅力はあると思う。そういった店舗をまですっかり閉店しないように存続、発展してもらうための支援について、商工会などと連携して支援していく。また、今、活用している空き店舗活用事

業、こちらは興味のある方はできるだけ使ってもらえるよう周知し、先進地の事例を調査しながら、視察が必要などところは視察しながら調査研究して、駅前通りの活性化に向けて推進していきたい。

人口減対策

問 広報に毎回の人口増減が出ています。11月はちょうど1000人減っている。3月は275人減っている。だから、1年に1000人以上は減っている。団塊の世代が一旦に高齢を迎えるので、物すごい勢いで減るはずである。自然増減は防げないだろうが、社会増減、要するに転入者が多い。そのため、転入者を増やすための、社会増減の状況を踏まえた対応を伺う。

答 少子化、高齢化の問題については旭市に限った話ではないが、今年度から第3期総合戦略を策定し、様々な事業を行っている。これらの事業を行うことによって、少しでも人口減少に歯止めがかかればいいと思っている。また、転入者を増やす政策としては、今、大きなものとしては定住促進奨励金等を使って市外から人を呼び込もうというのが代表的な事業かと思う。



木内 欽市 議員

